

令和5年度 学校経営方針（案）

1 令和5年度の改善（現状と課題を踏まえて）

○改善の方向	<p>3年にわたる感染症流行から、徐々に対面、集団生活への完全移行が進んでいる。過去3年間にICT活用が大きく進展したことを生かしつつ、学校が集団生活を体験的に行うことにより、適切な自己認識と将来的な成長の見通しをもって、意欲的に自己及び周囲の生活改善を目指すことが求められている。一人一人の児童が試行錯誤しながらもこれまで身に着けてきた経験や能力を発揮することを通して自己肯定感と自己効力感、主体性を高めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の児童理解に基づいたキャリア教育を推進する。 体験的活動とICTを有機的に連携させ、児童の主体的な学習に生かす。 児童の多様性を尊重し、安全で魅力的な学校環境を実現する。 地域・保護者との連携を深める。
--------	--

2 学校経営方針

短期

- 一人一人の児童が尊重し合い、安心して生活し学ぶことができる学校環境の実現
- ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実現と学び舎や保護者・地域との連携推進
- 教員のライフワークバランスの改善

中・長期

- 多様な児童が自他の個性を理解・尊重し、深く関わり合いながら成長できる学校の実現
- 地域の伝統・文化・人材を活用し児童が主体的に学ぶ学校の実現
- 人権の尊重をすべての教育活動の基礎とした学校文化の醸成

3 具体的な方策

人事構想・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 児童理解に基づいた学級経営の方法についての技術を身に着ける校内研修の実施。 管理職による授業観察、面談を実施し、指導助言を行う。 主幹・主任教諭等が参画することで、人材育成、学校運営への意欲を高める。 学習評価の方法改善、校務の整理、ICT活用、時程の調整等により、勤務時間内で授業時間を確保しつつ打ち合わせや事務作業ができる時間を確保する。
働き方改革・ライフワークバランスの適正化	<ul style="list-style-type: none"> 学校だより、ホームページ、すぐーるなどの活用と相談窓口などの周知により、保護者、地域との連携を進める。
保護者・地域との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 学び舎、学校運営委員、PTA、学校支援行—ディネーター、学校協議会と連携を深め、学校外の教育資源を活用した教育を進める。

4 教科「日本語」と総合的な学習の時間の活用

- 3年生以上 年間52時間：総合的な学習の時間 年間18時間：教科日本語
- すでに解のある課題ではなく児童が課題を設定し、調べ、思考し、表現する单元を各学年で構想し児童の主体的な学習を実現する。

5 その他

- 教育相談、特別支援教育を推進し、一人一人の児童についての理解と支援についての理解を深め、いじめ防止、不登校児童支援を進める。
- 服務事故防止のため、毎月短時間の服務研修を実施する。